

沿革

伊万里市消防のあゆみ	47~50
有田町消防のあゆみ	51~52
伊万里・有田消防組合のあゆみ	53~54



有田消防署 配備車両
資器材搬送車

伊万里市消防のあゆみ

- 明治22年 5月 ・伊万里町に私設消防組を設置
39年 4月 ・同上を公設に改革
- 昭和14年 4月 ・伊万里町警防団を設置（消防組防護団員中より任命）
19年 1月 ・伊万里町警防団の組織を改正4個分団、団員1,345名
20年 5月 ・伊万里町警防団に常備消防部を設置
自動車ポンプ1台、三輪自動車ポンプ1台、定員15名
22年10月 ・各町村に消防団を設置
伊万里町消防団、4個分団、団員655名（内常備部21名）
23年 7月 ・伊万里町消防団設置規則を制定
定員695名、手引動力ポンプ3台を配置
12月 ・伊万里町消防団定員、任命、給与、並びに服務に関する条例を
制定（他町村も同年度内に条例施行）
24年 7月 ・伊万里町消防団の組織を改正
団長1、副団長1、分団長4、副分団長4、部長28、班長59
団員598、計695名
29年 4月 ・伊万里市制施行、伊万里市消防本部発足。職員7名を任命
伊万里市消防団も統合、12個分団、120部に編成し、
定員3,200名、常備消防部を（定員20名）を併設、装備は
自動車ポンプ6台（内4台は常備部）、手引き動力ポンプ38台
可搬動力ポンプ39台（内3台は常備消防部）
5月 ・蓮池町37番地に消防庁舎落成
8月 ・初代消防長に松永稲吉を任命
30年 1月 ・消防本部10名、消防団3,200名、常備消防部27名
33年12月 ・消防ポンプ自動車1台購入（日産キャリアー）、常備部に配置
34年 9月 ・伊万里市消防署を設置、消防団常備消防部を併設。消防職員10
名
35年 4月 ・消防団常備部を廃止し、消防団本部に統合、所属装備は消防署に
移管、消防職員19名
36年 4月 ・消防職員24名
37年 3月 ・消防ポンプ自動車1台更新、消防署へ配置
11月 ・消防ポンプ自動車1台（B2級ジープ）更新、消防署へ配置
38年 5月 ・消防職員35名
8月 ・伊万里市消防署山代出張所を開設
（山代町久原1、692番地の2、市役所山代出張所に併設）
39年 2月 ・消防本部及び消防署の政令指定都市となる
40年 3月 ・消防ポンプ自動車1台更新、消防署へ配置
・消防署に無線局を開設。基地局1基、移動局3基、携帯3基
8月 ・消防職員42名

- 昭和41年 2月 ・佐賀・長崎県境消防相互応援協定締結
- 7月 ・佐賀県内市町村消防相互応援協定締結
- 9月 ・(財)日本消防協会より救急車1台寄贈、救急業務を開始
- 10月 ・消防署に無線移動局1基を増設
- 11月 ・(社)日本損害保険協会より普通消防ポンプ自動車1台寄贈
- 42年 2月 ・水槽付消防ポンプ1台を配置
- 5月 ・消防職員45名
- 9月 ・救急業務政令指定都市となる
- 43年 4月 ・市役所に消防無線移動局1、携帯1を設置
- 5月 ・伊万里市総合訓練実施
- 6月 ・隣接市町村と消防応援協定締結
- 44年 5月 ・消防職員49名
- 45年 5月 ・消防職員52名
- 46年 3月 ・救急車(日産エコー)配置
- 5月 ・(財)日本船舶振興会より救急車1台寄贈
- 47年 9月 ・特別消防救助隊を設置
- 48年 4月 ・長崎県福島町より消防事務受託 職員8名増員、消防職員60名
- 7月 ・東洋プライウッドと消防応援協定締結
- 10月 ・伊万里市消防署福島出張所開設
- 49年10月 ・佐賀県総合防災訓練実施
- 10月 ・24m級はしご付消防ポンプ自動車配置
- 50年 3月 ・伊万里市消防本部・消防団消防庁長官表彰旗授賞
- 8月 ・立花台地に消防庁舎落成、移転と同時に課制施行(2課5係)
- 11月 ・佐賀県内常備消防相互応援協定締結
- 51年11月 ・若楠国体(軟式野球・ホッケー)開催……消防警備実施
- 52年10月 ・市民防火の日制定(第1回市民防火のつどい消防まつり実施)
- 11月 ・伊万里市危険物安全協会設立
- 53年10月 ・伊万里市防火協会設立
- 54年 3月 ・伊万里市消防署西分署新庁舎落成(旧山代出張所)消防職員65名
- 5月 ・大坪小学校少年消防クラブ結成
- 55年 3月 ・伊万里市消防署東分署庁舎落成実働開始 消防職員74名
- 4月 ・伊万里市少年婦人防火委員会設立
- 5月 ・東八谷搦婦人防火クラブ結成(55年度8クラブ結成)
- 6月 ・高速消防救助艇配置
- 11月 ・(社)日本損害保険協会より消防ポンプ自動車1台寄贈
- 56年 4月 ・化学消防車1台配置
- 9月 ・幼年消防クラブ結成(私立幼稚園2、公立幼稚園7)
- 10月 ・伊万里市婦人防火クラブ連絡協議会結成
- 11月 ・市民防火の日制定5周年防火推進大会
- ・(財)日本防火協会より防火広報車1台寄贈

- 昭和57年12月
 - ・水槽付消防ポンプ自動車1台更新
 - ・(有) 齊藤本店より指揮車1台寄贈
- 58年 3月
 - ・(社) 日本損害保険協会より救急車1台寄贈
- 12月
 - ・第9回九州地区消防駅伝大会(国見台公園)
- 59年 4月
 - ・伊万里市消防署北分署庁舎落成実働開始 消防職員82名
- 60年 3月
 - ・救助工作車配置
- 61年 1月
 - ・機構改革により警防課新設(3課6係)
- 3月
 - ・無線前進基地局整備、救急波新設
- 8月
 - ・市民防火の日制定10周年記念消防まつり
- 10月
 - ・山代町下場婦人防火クラブ第2回全国婦人消防操法大会準優勝
- 63年 2月
 - ・(社) 日本損害保険協会より救急車1台寄贈
- 平成 元年 3月
 - ・通信指令装置更新(富士通ゼネラル)
- 9月
 - ・九州地区予防行政事務担当者研修会
(佐賀厚生年金休暇センター)
- 2年 8月
 - ・(財) 日本消防協会より電源照明車1台寄贈
- 11月
 - ・(社) 日本自動車工業会より救急車1台寄贈
- 3年 8月
 - ・(有) 齊藤商事(齊藤作市氏)より救急車1台寄贈
- 4年 1月
 - ・消防出初式に徳田正明日本消防協会副会長来場
 - ・(株) まるきん(金子勝哉氏)より救急指導車1台寄贈
- 3月
 - ・伊万里市高齢者防火クラブ結成
- 9月
 - ・(財) 日本防火協会より防火広報車1台寄贈
- 10月
 - ・市民防火の日制定15周年防火推進大会
- 5年 4月
 - ・消防職員96名
- 8月
 - ・(財) 日本防火協会より業務用車両1台寄贈
- 6年 4月
 - ・救急救命士資格取得第1号
- 10月
 - ・(財) 日本消防協会より救急車1台寄贈
- 7年 4月
 - ・機構改革により救急通信課新設(4課8係)
- 10月
 - ・牧島婦人消防隊第12回全国婦人消防操法大会優秀賞
- 9年 1月
 - ・はしご付消防自動車更新(35m級)
- 10年 3月
 - ・自治体消防50周年記念式典出席(東京/武道館)
- 4月
 - ・機構改革により救急通信課を警防課に統合、警防課に救急室を新設3課1室10係となる
- 5月
 - ・松浦川水防演習実施(建設省)
- 8月
 - ・川井スエノ様より救急指導車1台寄贈
- 11年 3月
 - ・高規格救急車配置(高規格救急業務運用開始)
- 7月
 - ・伊万里市防火協会平成11年安全功労者消防庁長官表彰受賞
- 12月
 - ・コンピューター2000年問題特別警戒
- 12年 7月
 - ・伊万里市防火協会平成12年安全功労者内閣総理大臣表彰
- 13年 3月
 - ・消防緊急通信指令システム更新(沖電気)
- 10月
 - ・市民防火の日制定25周年 防火推進大会開催
- 14年 3月
 - ・第48回佐賀県消防大会(伊万里市民会館)

- 5月 ・六角川水防演習（建設省）
- 平成14年10月 ・伊万里湾海上防災訓練
- 15年 2月 ・水槽付消防ポンプ自動車更新
- 11月 ・自治体消防55周年記念事業
- 16年 1月 ・市制50周年記念事業プレイベント「伊万里市消防出初式」
- 2月 ・消防ポンプ自動車更新（（社）日本損害保険自動車寄贈事業）
- 8月 ・女性消防団応急手当指導員認定
- 17年 1月 ・高規格救急車配置
- 3月 ・高規格救急車配置
- 4月 ・従来の交替勤務2部制から3部制へ試行
- 18年10月 ・長崎県石油コンビナート等総合防災訓練（福島町）
- 12月 ・（社）日本損害保険協会より高規格救急車1台寄贈
- 19年 4月 ・交替勤務2部制から3部制へ本格実施
- ・査察広報車更新
- 20年 3月 ・自治体消防60周年記念式典出席（東京/武道館）
- 4月 ・松浦市福島町常備消防業務引継式
（消防事務受託解消）
（長崎県松浦地区消防組合福島出張所へ職員2名出向）
- 21年10月 ・（社）日本損害保険協会より高規格救急車1台寄贈
- 22年 4月 ・二里町国道498号国見道路にて大規模な地滑り発生
（福岡市消防局特別高度救助隊及び佐賀広域消防局高度救助隊
応援要請）
- 9月 ・救急指導車配置
- 10月 ・消防協力事業所制度発足
- 23年 2月 ・住宅防火対策推進シンポジウム（伊万里市民センター）
- 3月 ・東日本大震災発生に伴い緊急消防援助隊派遣
（岩手県九戸郡野田村）
- 9月 ・救急優良事業所認定制度発足
- 10月 ・東日本大震災発生に伴う緊急消防援助隊派遣に係る感謝状受賞
（総務大臣、全国消防長会会長）
- 24年 3月 ・指令車配置
- 11月 ・消防団120年・自治体消防65周年記念大会出席
（東京ドーム）
- 12月 ・救助工作車、照明車更新
- 26年 3月 ・伊万里市消防本部閉庁式

有田町消防のあゆみ

- 昭和44年 4月 ・有田町単独により常備消防発足。職員7名を任命
- 46年 4月 ・常備消防政令指定を受ける。(自治省告示110号)
- 6月 ・組合消防設置許可を受ける。(有田町、西有田町で構成)
- 7月 ・消防業務開始(有田町役場内に消防本部・署併設)
化学消防ポンプ自動車配備1台(有田)
消防ポンプ自動車配置1台(西有田)
パトロール車配置(ニッサンサニー)1台(有田)
- 11月 ・初代消防長に馬場敏隆を任命、消防職員11名
・救急業務開始(自治省告示214号)
・(株)山之内製薬より救急車1台寄贈
- 47年 1月 ・消防職員23名
- 2月 ・新庁舎落成(有田町西部甲940番地)
- 4月 ・消防職員27名
・無線指令車配置(ブルーバード)
- 8月 ・消防無線装備(基地局1・陸上移動局4)
- 48年 6月 ・水槽付消防ポンプ自動車配置
- 49年 4月 ・消防職員31名
- 7月 ・無線サイレン吹鳴装置装備(有田2・西有田3)
・訓練塔成工(15m)
- 10月 ・消防ポンプ自動車更新
- 51年 7月 ・(財)競輪共益資金より広報車(ランサー)1台寄贈
- 52年 4月 ・消防職員33名
- 9月 ・(財)日本船舶振興会より救急車1台寄贈
- 54年 3月 ・県内防災行政無線運用開始
- 57年 5月 ・救助工作車(いすゞエルフ改良型)配置
・無線指令車(クラウン)更新
- 58年 1月 ・(有)伊万里発動機よりバイク(ヤマハ50cc)1台寄贈
- 59年 2月 ・(社)日本損保協会より救急車1台寄贈
- 60年 2月 ・消防第2車庫増設
- 4月 ・佐賀県林野火災予防対策事業備品使用賃借契約
- 62年 8月 ・(財)日本消防協会より指令広報車(カリーナバン)1台寄贈
- 11月 ・衛星通信119番設置
- 63年 3月 ・無線サイレン吹鳴装置全局更新(有田2・西有田3)
・無線サイレン吹鳴装置子局1局増設(有田3・西有田3)
- 12月 ・水槽付消防ポンプ自動車更新
- 平成元年 3月 ・無線サイレン吹鳴装置子局1局増設(有田4・西有田3)
- 7月 ・人員、器材搬送車(ハイエースワゴン)配備
- 10月 ・(社)日本損保協会より消防ポンプ自動車1台寄贈

- 3年 7月 ・(財)日本防火協会より防火広報車(ハイエースワゴン)1台寄贈
- 8月 ・(財)日本消防協会より救急車1台寄贈
- ・人員、器材搬送車(ハイエースワゴン)構成団体へ譲渡
- 4年 5月 ・無線指令車(クラウン)更新
- 5年 4月 ・消防職員35名
- 10月 ・有田町婦人消防隊全国小型可搬ポンプ操法大会優秀賞
- 6年 1月 ・救助工作車(三菱キャンター)更新
- 4月 ・消防職員37名
- 7月 ・トレーニング室新築(軽量鉄骨造)
- 7年 4月 ・消防職員39名
- 7月 ・救急救命士資格取得第1号
- 8月 ・(財)日本消防協会より救急車1台寄贈
- 8年 2月 ・高規格救急車(トヨタハイメディック)1台配置
- 3月 ・救急車(昭和59年配備ニッサン2B型)1台を有田共立病院へ譲渡
- 4月 ・高規格救急車運用開始
- 7月 ・世界・焔の博覧会開催(7~10月 現地警備 常時3名)
- ・消防本部庁舎内外塗装
- 9年 5月 ・消防本部合併浄化槽設置
- 10年12月 ・第2車庫増築及び裏入口舗装・フェンス工事
- 11年11月 ・車庫内の排気ガスシステム装置の設置工事
- 13年 2月 ・庁舎屋上防水工事
- 3月 ・消防無線サイレン吹鳴装置(基地局)更新
- 9月 ・訓練棟改築
- 14年 1月 ・水槽付消防ポンプ消防車更新
- 15年 9月 ・パトロール車更新
- 11月 ・救急室・仮眠室増改築工事着工
- 16年 3月 ・救急室・仮眠室増改築工事完成
- 17年 4月 ・(社)日本自動車工業会より高規格救急車(トヨタハイメディック)1台寄贈
- 18年 2月 ・指揮車(トヨタクルーガー)更新
- 3月 ありたまち にしありたちょう ありたちょう ・有田町、西有田町の2町合併による有田町誕生に伴い、消防組合を解散し、単独消防「有田町消防本部」となる。
- 24年 1月 ・高規格救急自動車(トヨタハイメディック)更新
- 4月 ・消防職員40名
- ・職員2名 伊万里・有田消防広域化協議会発足に伴い、事務局へ出向
- 26年 3月 ・有田町消防本部閉庁式

伊万里・有田消防組合のあゆみ

- 平成25年 4月 ・伊万里・有田消防広域化協議会発足
25年 3月 ・消防広域化に関する基本合意書調印式
4月 ・伊万里・有田消防組合設立準備委員会発足
26年 4月 ・伊万里市及び有田町の1市1町で構成され、1本部、2署、
3分署を配置した「伊万里・有田消防組合」発足
7月 ・組合議会において管理者に伊万里市長 塚部芳和を任命
副管理者に有田町長 山口隆敏を任命
・消防救急デジタル無線装置及び消防緊急通信指令システム運用
開始
7月 ・佐賀県常備消防相互応援協定締結
・消防組織法第37条に基づく消防相互応援協定締結（松浦市）
12月 ・（一財）日本防火協会から防災広報車1台寄贈
27年 3月 ・有田消防署に救助資機材積載型水槽付消防ポンプ車配置
（水槽付消防ポンプ自動車更新）
・伊万里松浦道路における緊急時の通報及び出動に関する覚書を交
わす（伊万里松浦道路）
10月 ・消防組織法第37条に基づく消防相互応援協定締結（佐世保市）
12月 ・伊万里消防署東分署ホース乾燥塔改築
28年 1月 ・伊万里消防署に高規格救急車配置
（トヨタ2B型救急車更新）
4月 ・熊本地震発生に伴い緊急消防援助隊派遣（計6隊 18名派遣）
（熊本県上益城郡益城町）
10月 ・緊急消防援助隊佐賀県大隊の応援出動における食料等の供給に
関する協定締結（佐賀県生活協同組合連合会）
12月 ・（公財）日本消防協会から防災活動車1台寄贈
29年 2月 ・伊万里消防署西分署に消防ポンプ自動車配置
（三菱消防ポンプ自動車更新）
5月 ・伊万里消防署にはしご付消防ポンプ自動車配置
（モリタ35m級はしご車更新）
7月 ・九州北部豪雨災害発生に伴う緊急消防援助隊派遣
（計17隊 58名派遣）
11月 ・有田消防署に高規格救急車配置
（トヨタ高規格救急車更新）
12月 ・災害時における消防用水利等の供給支援に関する協定締結
（佐賀県生コンクリート工業組合）
30年10月 ・西九州自動車道で大規模法面崩落に伴い佐賀県常備消防相互
応援協定に基づく応援隊（佐賀広域消防局）の派遣要請
・伊万里消防署に津波・大規模風水害対策車配備

総務省消防庁貸与車両

- 31年 3月 ・伊万里消防署東分署に消防ポンプ自動車配置
(三菱消防ポンプ自動車更新)
- ・伊万里消防署に化学消防ポンプ自動車配置
(日機化学消防ポンプ自動車及び日機水槽付消防ポンプ自動車更新)
- 令和 元年 8月 ・九州北部豪雨に伴い佐賀県常備消防相互応援協定に基づく応援隊
の派遣(杵島郡大町町)
(計2隊 10名派遣)
- 9月 ・伊万里消防署東分署に業務車配置
(業務車更新)
- ・伊万里消防署救急専用施設落成
- 10月 ・有田消防署新庁舎建設工事起工
- 2年 2月 ・伊万里消防署西分署に高規格救急車配置
(トヨタ高規格救急車更新)
- 7月 ・熊本県南部豪雨に伴い緊急消防援助隊派遣(計2隊 7名派遣)
(熊本県球磨郡球磨村)
- 3年 3月 ・有田消防署新庁舎落成
- 8月 ・令和3年8月11日以降の大雨に伴い佐賀県常備消防相互応援
協定に基づく応援隊の派遣(計2隊 10名派遣)
(武雄市内、杵島郡大町町)
- 4年 2月 ・伊万里消防署改修工事竣工(仮眠室、待機室)
- 4年 2月 ・伊万里消防署北分署に高規格救急車配置
(日産高規格救急車更新)
- 3月 ・伊万里消防署に消防ポンプ自動車配置
(日野消防ポンプ自動車更新)
- 4年11月 ・伊万里消防署東分署に高規格救急車配置
(トヨタ高規格救急車更新)
- 5年 3月 ・伊万里消防署増築棟落成
- 5年 4月 ・有田消防署に資機材搬送車配置
- 5年 7月 ・令和5年7月の大雨による土砂災害に伴い佐賀県常備消防相互応援
協定に基づく応援隊の派遣(計9隊 45名派遣)
(唐津市浜玉町)

火災予防ポスター
最優秀作品

伊万里市



【小学生の部】

有田町



【小学生の部】



【中学生の部】

命を守る 住宅用火災警報器

設置してありますか？点検してありますか？

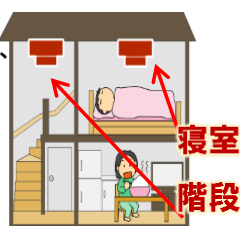


※ 住宅用火災警報器は、古くなると電子部品の寿命や電池切れなどで火災を感知しなくなることがありますので、機器本体を取り替えましょう。

■設置する場所(例)

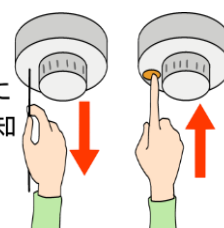
設置が必要な場所は、
寝室・階段等※です。

※階段は、寝室が2階以上
にある場合に必要です。



■点検方法

ひもを引っ張ったり、
ボタンを長押しする
と、音声などで正常に
作動するかどうかを知ら
せてくれます。



消防年報

令和5年

令和5年8月 伊万里・有田消防組合 発行

編集発行 伊万里・有田消防組合
〒848-0027 佐賀県伊万里市立花町 1355-3
TEL (0955) 23-2116
FAX (0955) 23-1120